

事業報告

活動名	日本技術士会東北本部岩手県支部令和5年度秋季講演会 ～シリーズ岩手を知る（第27回）～ 「岩手の伝統工芸から自動車まで」 ～工業技術センター塗装企業支援の取り組み～ (CPD 番号 -)
主催	公益社団法人 日本技術士会 東北本部 岩手県支部
日時	令和5年11月4日（土）15:00～16:30
場所	エスポワールいわて（盛岡市中央通 1-1-38）
参加人数等	29名（会場28名、WEB配信視聴1名）
活動内容	
1. 講演内容 【講師】 地方独立行政法人岩手県工業技術センター連携推進室 主査専門研究員 佐々木 麗 氏 岩手県工業技術センターの佐々木 麗氏を招き「岩手の伝統工芸から自動車まで」と題して講演を頂いた。佐々木氏は塗装分野の研究員として、主に金属塗装分野を中心に企業支援を行ってきた。令和5年4月より連携推進室配属となり、現在は他機関との連携業務等に従事している。 【岩手県工業技術センターの概要】 岩手県工業技術センターの歴史は古く、明治6年に「岩手県勸業試験所」として開所して今年で創立150年を迎えた。明治時代から県内企業の技術支援を目的としており、公設試験場としては全国初の地方独立行政法人へと移行した。支援メニューは、共同研究、技術相談、設備利用、分析試験、技術研修など多岐にわたる。最近ではIoTやAIなどの先端技術も手掛け、企業ニーズに合わせて製品開発から品質管理まで幅広い分野を支援している。 【講演要旨】 講演においては、日本の塗装の起源は古代の漆塗りから始まっており、明治時代には外国文化の影響を受けて塗装技術が進歩したこと、現在では抗菌や防水など様々な機能を持つ塗料が開発されていることや、民間企業との共同研究事例紹介では、鋼構造物の塗替え時の鋼材腐食を防ぐため開発された、防錆機能を付与した洗浄技術について、施工コストも抑えられるような製品開発の試験を実施している紹介があり大変興味深いものであった。 参加者からは、鋼構造物の塗替え工程で使用される洗浄剤に含まれる防錆剤の成分及び、それを発見した経緯についてや、東北大学にできたナノテラス(サイクロトロン)の一般企業への活用方法など、様々な方面からの質問が出され、佐々木氏からは丁寧な回答があった。（文責 永田裕一）	
 古山支部長の挨拶  講師の佐々木氏  会場の様子  開場からの質疑	